

目指したい将来像

繊維産地として培ってきた高い技術や精緻なデザインの蓄積などの持てる力を最大限活用して収益力を強化し、労働環境や従事者の待遇を引き上げる。元気になった繊維産業が若い世代の雇用の受け皿や創業希望者の苗床となり、移住者の増加や定住者の確保へと連鎖していくこと。

計画期間

2020年4月～2025年3月（5ヶ年事業）

深化型ひろかわ移住定住促進事業

（事業案）

- ・デザイナー等起業支援講座と短期滞在セット事業
- ・デザイナー等のお試し居住
- ・久留米絣工場での仕事体験とお試し居住セット事業
- ・ひろかわ産地の学校、ひろかわまちじょ
- ・サンチカンサロン

なお、OrigeとKibiruは元地域おこし協力隊が起業した会社を指定管理者として、公設民営による運営体制へと移行

事業概要

広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設（Orige）と、デザインや洋裁設備が整った施設（Kibiru）の2つの機能を最大限活用し、繊維産業に関心を持つ人材の流れを加速させるとともに、他産地の人材とも積極的な交流を進めて技術の融合を促し、関係交流人口を増やすという「深化型ひろかわ移住定住促進事業」に取り組む。それと同時に、関係人口となった人々が実際に移住できるよう、仕事の受け皿となる繊維産業の雇用を強化拡大する「ひろかわ繊維産地の機能強化事業」にも取り組む。

ひろかわ繊維産地の機能強化事業

（事業案）

- ・「ひろかわ産地未来づくりミーティング（仮称）」立ち上げ（久留米絣関係者、町役場、町商工会、久留米工大、金融機関等から有志による構成）、繊維産業に関する学識経験者の参画を検討中
- ・現状分析と議論から今後の戦略プラン策定
- ・柄やデザイン等意匠管理活用の仕組み検討
- ・他産業へのデザイン提供、他産地技術との融合による新たな商品開発等
- ・産業観光可能性調査及び環境整備支援策の検討
- ・プロジェクトの成果報告会兼販売促進イベント等のプロモーション
- ・久留米工大を中心とした生産性向上のための製造機器の改良研究

上記の取り組みのうち、久留米工大への補助以外は、包括的な業務として外部に委託し、事業案の内容等を基に予算の範囲内で実行する。

